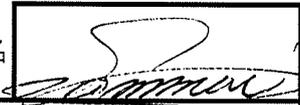


## デイリーレポート

船長署名



船名	大島丸		情報発信日時	2024 年 7 月 14 日 12 時 00 分		
現在位置	航海中	時 分	概位			
		<Lat. - >	N/S Long. -	E/W >		
	停泊中	12 時 00 分	概位	鹿児島港本港区北ふ頭1号岸壁		
		<Lat. 31 - 35.8 >	N/S Long. 130 - 34.1	E/W >		
	錨泊中	時 分	概位			
	<Lat. - >	N/S Long. -	E/W >			
	操業中	時 分	概位			
	<Lat. - >	N/S Long. -	E/W >			
	観測中	時 分	概位			
	<Lat. - >	N/S Long. -	E/W >			
本船状況 気象海象	針路：	- 度	船速：	- kt	天候：	p
	風向：	SSW	風速：	3.5 m/s	視界：	3 浬
	波高：	0.2 m	風浪階級：	1	うねり階級：	0
乗船者 状況	乗組員	現在員：	19 名	健康状態：	良好	不良
		摘要：				
	生徒	現在員：	13 名	健康状態：	良好	不良
		摘要：				
指導教官	現在員：	2 名	健康状態：	良好	不良	
	摘要：					
支援員	現在員：	1 名	健康状態：	良好	不良	
	摘要：					
○本船動静 Nil						
○避航・避難理由 Nil						
【学校側コメント】						
<p>昨日、入港着岸後、直ちに釣り上げた魚は、水族館へ搬送しました。魚種は、アオダイ・サメ・アカダマガシラ・ヒメダイ・ホホアカクチビの5種で、総数13匹でした。搬送された、これらの魚種は、薬浴（微生物除去、傷の手当等）を行い、しばらく観察するそうです。数年前、習熟訓練航海の時、鹿児島水族館スタッフが乗船して同釣り調査を実施しています。この時も同様の措置を行っていますが、環境に順応して生き残った生命体は僅か数匹だと、暫くしてから連絡があったとか。深海に生息していた生命体を気圧変化、水温変化にも順応させて体の小さな傷の手当てを行い、微生物を除去させる…その後、餌を食べてくれるかどうか、日々の観察と必要な処理を行って、これなら大丈夫という結果を得るまでは相当の日数を必要とする。今回の結果は果たして…と注目していたと思っています。</p> <p>生徒の本日の行動は、08時の旗揚げ後、制服に着替えて自由上陸です。あいにくの雨模様の中の上陸です。本日は3連休の中日、観光客も大勢います。上陸前に教官からは、雨模様と観光客が多数いることを念頭にくれぐれも注意して自分たちなりのテーマを持って楽しんで来てください。帰船時間は厳守ですよ！と念押しされながら、行って来ます、と上陸して行きました。</p>						